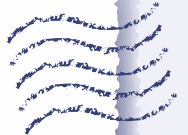
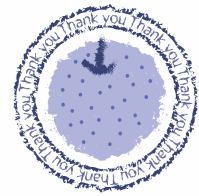


町長コラム

ベア・パル



「偉大なるセイレーンたち」

「今般利府に建てられる火葬場は利府らしいものにした
い。しいて言えば『生き返るような』火葬場がコンセプト
です。」そんな内容をしたためた手紙をスタバの社長に出
したのは、もう3年も前になります。町長に就任して間も
なく、日経新聞か朝日新聞のインタビューで、スター
バックス社の社長が障がい者雇用に力を入れていると話
されていました。利府町には特別支援学校があって、
ちょうど塩釜地区の火葬場の移転の話で「利府からの要望
はないか」と寄せられていましたので、早速社長に手紙を
書いた次第です。

利府には雇用先を必要としている方々がたくさんいる
ので、是非とも。そしてその出店先は、例えば火葬場
であれば、日本全国でも初の試みどころか、世界初の試
みとなるので、いかがでしょうかと猛烈に記し、塩釜消
防事務組合の担当者に行ってもらいました。思い
のたけを書いたつもりでしたが、先方の返答は残念ながら
「斬新すぎてついていけない」と。

現代の事情をかながみ「迷惑施設」イメージを払しょく

したカラーを打ち出したつもりでした。聞けば他地域の
火葬場のペット炉は順番待ちが当たり前という事で、小
さな家族を失った悲しみを一杯のコーヒーで癒して、生
き返るような気持ちで家路についてほしい、そうした思
いだったのですが、言葉にうまくできなかったのかも知
れませんが、今、ペットは重要な家族の一員です。東日本
大震災の時もペット同行の避難所が無くて苦勞しました。
その経験からわが町の訓練ではペットを大事に扱う訓練
もしています。新りふ斎苑(新火葬場)にも時代の要望に
こたえ、ペット炉を整備しました。

手紙を書いた思いが届いたかは定かではないですが、
ほどなく利府町にもスタバがやってきてくれました。「ス
タバはないが砂場はある」と豪語した鳥取県に、やっとス
ターバックス1号店ができたとニュースになっていました
。利府町には砂場もスタバもあります。大いに自慢し
ようではないですか。

利府町長 熊谷 大

利府町

地域おこし協力隊がゆく!!

No.27 梨園を清潔に保つため、草刈り作業を行いました

季節は夏になり、晴天が続くと梨の生育も進みますが、一方で梨園内外に自生
する雑草の成長スピードもグンと上昇。梨園内外を清潔に保つために定期的に草
刈り作業を行っております。今回使用した農機具は、肩掛け式の草刈機と乗用タ
イプの草刈機の2種類。特に草刈機を用いた法面での作業は非常にバランスが取
りやすく、体力も消耗しやすいため、注意散漫になりがちです。適度に休息を取
りつつ、常に危険予測をしながら農作業を続けていきたいと思ひます。



草刈り前

梨園外の法面

草刈り後



梨園内の
草刈りの様子



ブログやってます。

地域おこしと梨とオラ。 検索



きっかわ かずとし
地域おこし協力隊 吉川 一利